

第24期第13回（平成30年度第6回）公民館運営審議会 会議録

開催日時	平成30年11月15日（木） 午後2時～4時
開催場所	中央公民館・視聴覚室
委員	(出席者) 10人 (欠席者) 1人
職員	(出席者) 尾又中央公民館長、富田中央公民館事業係長（記録）、森田狭山公民館長、三宅蔵敷公民館長、蓑田上北台公民館長 (欠席者) 佐野南街公民館長
傍聴者	0人
会議次第	(1) 答申提出 ・50周年実行委員会について (2) 審議事項 ・公民館運営協議会委員研修会について (3) 報告事項 ・都公連委員部会の報告
配布資料	(全委員に事前配布) ・くにたち公民館リーフレット（写し） ・公民館運営審議会委員研修会についてのアンケート集計結果 ・平成27年度実施の委員研修会の研修報告書 ・会議録（9/27実施分） (全委員に当日配布) ・上北台公民館 開館25周年利用者懇談会拡大版 ・蔵敷公民館 開館40周年記念イベント など
開会前 事務局	事務局からの報告等 はじめに、委員より本日欠席のご連絡をいただいておりますのでご報告いたします。 つづきまして、本日の会議資料の確認をさせていただきます。 本日の会議資料は、事前に送付いたしました資料としまして、「くにたち公民館リーフレット（写し）」、「公民館運営審議会委員研修会についてのアンケート集計結果」、「平成27年度実施の委員研修会の研修報告書」でございます。 また、お手元の封筒が本日の追加資料でございます。 ご確認をお願いいたします。
会議の要旨	
委員	それでは、次第の1（1）「答申提出」を中央公民館長にさせていただきます。
委員	公民館開館50周年記念事業について（答申）平成30年2月15日付「大教社公発第71-1号」により諮問のあった標記の件について、別紙のとおり答申いたします。平成30年11月15日 東大和市立中央公民館 館長尾又恵子様 東大和市立公民館運営審議会 会長佐々木辰彦 どうぞ宜しくお願い致します。
尾又館長	ありがとうございます。
委員	続きまして「50周年実行委員会」について、尾又中央公民館長、説明をお願いします。
尾又館長	皆様、公民館開館50周年記念事業について答申をいただきましてありがとうございます。前回より大分早い答申になりましたので、これから十分な期間をもって進める事が出来ると思います。その際にはお書きになった事が実現出来るように是非ご協力いただければと思います。つきましては、50周年事業の実行委員会を立ち上げたいと思っております。4月以降なるべく早くに会議を始められればということで、職員も5人程選ばせていただきました。具体的に名前を申し上げますと、中央の富田係長、南街の岸職員、狭山の森田館長、蔵敷

の荻野職員、上北台の宮鍋職員、この方達は比較的新しい職員です。今回答申いただいて、来年度から実行委員会を立ち上げて2年ほど準備をして3年後の事業ですとか、その翌年に記念誌を作成します。これから4年がかり位になってしまいますが、なるべく異動しないで関わられるのではないかと思います。

さっそく担当者の方で集って話をしてくれました。職員の方も今までこのような大きなイベントを手掛けた事が無い、新しい職員ですから、50周年記念事業をどのように進めていったらいいのか、皆で検討するような期間がほしいということで、少し職員でしっかり話していく期間を設けさせていただけたらということになりました。出来れば来年の10月くらいから実行委員会が出来るように、その間職員の方で色々な下調べなどをして中身を色々考えていきたいということでした。

振り返ってみますと20周年の時には実行委員が28人、30周年の時には20人、40周年の時には13人でした。実行委員が沢山いた20周年の時には、冊子を作っただけではなくて、30分くらいのビデオも作っているんですね、自分達が出演したりして公民館を宣伝できるようなことをやっています。ビデオの台本を作ったり、お人形さんを作って自分達で被り物をしてたり、すごく凝ったことをしています。30周年の時にも、被り物までは作ってなかったと思いますが、東大和市で色々な公民館的な社会教育の活動をやっていた方達を選んで、どんな事をお聞きしようかという内容を考えて取材したりして、それをビデオに1枚ずつ収めたというのを5人くらい作りました。

そのように人数がいらっしゃると凝った事も出来るような状況だったんですけど、40周年の時には答申をいただいたのも、わりとギリギリだったのと、13人の中でどんな事が出来るのか、大きいことを考えるゆとりがなく、中々事業の事が固まっていかなかったんです。ビデオを省いて何とかやりくりしていったような事がありましたので、今回職員の方も10月までじっくり準備したいという話もあります。

公運審の皆さんの方でも実行委員になれる人が、こういう人がいるんじゃないかということをしらして下さい。職員にもこの人こんなスキルを持っているから、こんなイベントを手伝ってもらえるんじゃないかみたいな事を、職員も公運審の皆様も皆で人材を掘り起こして、その方達を何とか10月までに集めていただきたいと思います。10月からはたった13人で何が出来るだろうというような寂しい会議ではなく、私はこれが出来るからこれを進めていきたいというような、予め色々なデザインを持って実行委員会に臨んでいただきたいと思います。

実行委員会開始が半年遅れたとしても、それなりの協力するより、自分で考えて来るよというような方達の人数が集れば、むしろ人を掘り起こすところに時間が取れ、良い活動が10月以降出来るのではないかなと思います。職員もそのように考えていますので皆様もご協力いただいて、アイデアやその方のスキルがわかっていて推薦していただいたり、あるいは推薦に行ってもらえないから自分で申し込んでおいてよというような形で、実行委員に応募していただいたり募集をかけてからでなくても、自分がやりたいと思っていただければ職員にどんどん話していただいて、自分はこういう事が出来るからこういう事で手伝いがしたいよと言っていただいて良いと思います。あるいは自分

	<p>と同じようなスキルを持っている人がもう後何人くらい必要だから探すようにしてちょうだいか、そういうことも出来ると思います。何とか10月までに20人～30人集って、いきなりアイデアから話せるような実行委員会を作っただけだと思えます。実行委員会をどのように切盛りしたらいいのかというようなアイデアでも良いと思えますので、職員の担当者を申し上げたので、こういうアイデアが良いよとか、こういう人がいるよとか、こういう風に盛り込んだのはこういう意味だからしっかり企画して行ってほしいなど色々なおしゃべりを職員としていただきながら、会議が始まったら、だーっと走っていけるような実行委員会が始められるように是非ご協力いただけたらと思えます。以上です。</p>
委員	<p>説明が終わりました。ご意見がありましたら、ご発言をお願いいたします。</p>
委員	<p>皆さんお手元に40周年の記念誌がありますでしょうか。実行委員は139ページに載っていて、138ページに検討委員と起草委員が載っています。話しがあったように多くの実行委員を集めて来年10月スタートを切って行きたいという館長のお話でした。皆様それぞれの団体からお出でになっていますので、皆さんもちろんですけど実行委員として声を出してほしいですし、それぞれの方からこんな方がいるよとか、こういう所がいいんじゃないなど、それぞれの団体にお帰りになって会がある時に、いよいよ答申が終わって50周年の事業が始まるというのをアナウンスしていただいて、関係の方から実行委員に推薦できる方とか自ら立候補する方もいるかもしれません、そういうことの動きをしてほしいと思えます。</p>
委員	<p>館長の設定された実行委員の選任は、公民館に関わりなくて一般市民でしょうか。</p>
尾又館長	<p>30周年の時には、普段は公民館で見かけない方でも市報やこうみんかんだよりで応募して下さったような方もいらっしゃいます。地域の中で他の分野で活動されていたんですけど、市を盛り上げたいという事で、公民館の周年事業を通して市を盛り上げる事が出来るんだねということで来られた方が私の記憶では2人ほどいらっしゃいます特に公民館を普段使っていなければいけないという縛りはございませ。50周年を一緒に祝いたいとか、50周年によって公民館をもっと使えるようにしていきたいとか、色々な思いをもってくださいの方が関わってくださって良いのかなと思っております。</p>
委員	<p>広く市民等という形で公募になるわけですかね。小論文出すとかということもあるんですか。</p>
尾又館長	<p>それは面白いですね。ヒガシヤマト未来大学の企画運営委員の養成講座の募集をした時には自分がどんなスキルがあるかみたいなプロフィールと、どうして未来大学に関わりたかと思った動機と2本論文出してもらった実績もあります。職員の方でもその辺考えてくれると思えますけど、その様な事がもしかしたら入るかもしれません。</p>
委員	<p>1月か3月のこうみんかんだよりに公募として載せますよね。</p>
尾又館長	<p>もうちょっと先になるのか、まだわかりませんが、こうみんかんだよりの年頭の挨拶には実行委員募集しますということは載っていますので、別にいつから募集が始まったというスタートに関係なく応募していただいて構わないです。応募要項はもうちょっと先になると思えます。</p>
委員	<p>今のところは皆さんの関係の方から、こういう人いいかなと声を掛けていただく、そのぐらいのスタートですかね。公募の時には正式に</p>

	自分の思いが書けるようなこともあるかもしれない、で何月何日から何月何日まで公募しますという要項がでるとい手続きですかね。
尾又館長	募集の内容はそうですね。
委員	それで10月スタートに向けて募集をかける。そんな感じです。
委員	わかりました。ありがとうございます。
委員	委員ちょっと重複するんですが、私も推薦したい人が1人2人いるんですが、どういう選定方法になるんですかね。折角推薦してもその人だめだよ、とかということになると、選出の基準とかあるんですか。
尾又館長	まだ何も決まってませんので、お近くの職員とどんな風になって行くのかみたいなおしゃべりをしていただければ職員の方もそこからインスピレーションをもらえます。こういう風な基準で募集したら良い人が集るかなみたいな、その辺の具体的なものも把握が出来ると思いますので、むしろどんどん職員とおしゃべりしていただけたらと思います。
委員	例えば一つはグルメに関しても市に協力してる、グルメコンテストにも出ている人なんですけど、もう1人は公民館に対して色々希望を持って公民館でこういう事をしたらいんじゃないかというような方がいるんですよね、そういう方でも推薦はさせてもらってもいいんでしょうか。
尾又館長	情報があつたほうがこういう方向性だったら成功しそうというように実際のイメージが出来たりすると思いますので、どうぞ推薦いただければと思います。
委員	わかりました。
委員	質問です。イメージを掴まないと推薦なり会話も出来ないと思うので。例えば各公民館でのまつり実行委員会ってありますよね利用している人達の、今回の50周年の記念事業を進めていく実行委員会としては、例えば公民館まつりのような、50周年記念に対して職員さんと一緒に計画を作って、作りこんでいくというイメージでいいんですよね。
委員	結構いるんですよね、公民館に関して興味を持ってるとか、協力したいとかそういう感じの方はおられると思います。まつりに関して色々やってる人とか市でやってる色んなイベントに関して積極的にやっておられる方とか、市に対してこうしたほうがいいんじゃないかとか色んな意見を持ってるとか、今度の起草委員会の時にお話したんですがグルメに関してそういう方がおられて、非常に興味をもって東大和市でこういうことをいかがですかというこんな方が、基準があれば推薦させてもらってもいい。まあ一緒ですよ。
委員	公民館まつりで先頭きって活躍される人が沢山いますよね、そういう方達が50周年で少し手伝いする事があるかなと思っていただければ、ある意味期待をかけているので、声を掛けていただければと思います。
委員	もう一つ、人数に制限はないんですか。
尾又館長	今回いただいているのは結構盛り沢山ですので、色んな班を作らなければいけないのかなと思っております。その班の一つの活動に例えば5人ではなく7人つけられるとか、そういう風になってくると思いますので、人数がいて困るという事は多分無いのかなとは思っております。
委員	折角ですから50周年記念を良いものにするためには大勢集っていただいたほうが。

委員	<p>それでは、いよいよ50周年今日からスタートでございますので、先程申し上げましたように、お戻りになりましたらアナウンスしていただければと思います。お願い致します。</p>
委員	<p>最後に一つだけ、例えば利用連とかに答申をコピーして共有することとかは、してもいいんでしょうか。</p>
尾又館長	<p>各グループの利用連さんの分は、こちらで印刷してお届けしようと思います。</p>
委員	<p>それでは答申に関しては以上といたします。</p>
委員	<p>次に2番目の審議事項「公民館運営審議会委員研修会について」を議題といたします。尾又中央公民館長、説明をお願いします。</p>
尾又館長	<p>先日、研修会についてのアンケート結果をもとに各先生にご連絡取りましたところ、ご都合がつかしましたのが井口啓太郎さん国立市の職員で文部科学省の生涯学習政策局 生涯学習推進課 障害者学習支援推進室に派遣されている方です。結構最近あちらこちらで研修されておりまして、皆様のアンケートの集計結果もお送りしてこの中から、ご自分のご経験などの中から、あるいはこれからの公民館を考える上で重要と思われる点などを扱っていただきながら講習を行ってほしいということをお願いしているところです。</p> <p>一番最近ですと9月19日に都公連の職員部会の研修をしたばかりでいらっしゃるんです。その中で公民館については、公民館の活性化に向けてとか、公民館の公共性をめぐってとか、三つの現代的方向性などということで、これからの公民館のことについてなどもお話されています。直近でお話されていることなどもひっくるめながら皆様からのご要望にこたえられるような講習を作り上げていきたいということで、今のところまだレジュメが来ているわけではございませんで、詳しい中身の方は今皆様にお話することは出来ないんですけれども、皆様のご意向をお伝えした上で講習会を行うことをお願いしてあります。</p> <p>日程的には皆様と打合せさせていただいております1月17日でもお願いできましたので、前に国立に見学に行った時にも夕方井口さんにも入っていただいて懇親会をやった記憶があるかと思っておりますけれども、今回もお願いしましたところ懇親会も大丈夫ですというお話でしたので、お時間の方は3時から5時で設定させていただいて、その後職員の勤務時間が終わった後の時間で懇親会をさせていただきたいと思っております。ということで一応考えております。改めてタイトルですとか中身が分かりましたらご連絡させていただきたいと思っております。以上です。</p>
委員	<p>説明ありがとうございました。研修会に関するアンケート集計結果が出されていますけど、もう少しこういうことも井口さんから聞きたいなということがあれば、それを加えて事前に伝えてお願いできそうなんです。事前配布の中に平成27年度研修報告書というのがあるって、読んだと思いますが、国立市公民館で平成28年1月14日(木)に行ったんですね、研修報告を出された方もいらっしゃいますし、その後公運審の委員になられた方もいますので、どんな内容だったのかということを知っていただくために事前配布でそれぞれの委員の方達の研修報告を入れました。それを含めて研修のテーマのようなものを皆さんから出してもらいたいということで議題にしています。またもうひとつ資料として貰った国立で作っている公民館のリーフレット、これも50周年の記念事業の中で東大和市版を作ろうと答申で打ち出しているのでもういいかなと思います。こういうようなコンパ</p>

	<p>クトなものがあって市民の皆様の目にふれる所に置いて利用しやすい公民館になればということでの国立市版でございます。もうひとつ、これから見ていただきますがプロモーションビデオ、これは国立が60周年の事業のひとつとして作ったビデオです。6分間ありますが皆さんで見ていただきます。</p> <p>(ビデオ上映)</p> <p>いかがでしたか。こういうプロモーションビデオを東大和市版が50周年の事業の中で作ってあげれば良いなというところだと思います。さて皆様の方から井口さんをお願いする項目としてアンケート集計結果を出したんですが、こういうことも聞きたいな、話を聞きたいなという事があれば、ここで伺いたいということで議題にしています。いかがですか。</p>
委員	<p>先程館長の方からも実行委員についてのお話を聞きながらすごくわくわくして、本当に東大和にも色んな力を持っている方が沢山いるので、まだ出会ってない人達に出会えるかなと思うとすごくわくわくしています。例えばこのプロモーションビデオは会社だけで作っているわけではないですし、プロモーションビデオの編集の仕方、市民でどういう風にやったらいいのかなとか編集のところからしっかり係わってやりたいと思うんですけど、プロの方が入って作ったと思うんですが、そこを聞いてみたいと思ったことと、どういう風に市民の心に火を点けていったかとか、実行委員の募り方ですとか、周年行事に集中しちゃいましたけど。</p>
委員	<p>ビデオについてはどう中心にやるかという考え方、国立の公民館が色んな事業をしているわけですけど、こういうのを取り上げて欲しいとかっていうのをどのように吸い上げたのかとか、そうすると編集委員になる人、または実際に作業手伝う人や、じゃあそうなるとういう映像が必要だから今のうちからこれ撮っておきましょうというふうになると思うんで、そこらへんの制作に取り掛かるあたりからどんな風に進んでいったのか、完成するまでにどんな風にどんな人が係わって作ったのかということも。そうすれば公民館の職員さんからもこういう風にしたいとかきつとあるだろうし、いわゆる映像のプロに近い人達にとってはこういうアングルでこういう風にやったほうがより効果的ですよというようなアドバイスもきつとあったでしょうし、完成までの間にどんな人たちがどのように関わって出来たのかというあたりですね。</p>
委員	<p>先程尾又館長から10周年の時のお話をいただいたときに、きつとあれは自分達で編集して自分達で撮って自分達で作ったものだと思うんですけど、委員の自治会のお話でしたか、ビデオを撮られる方がいるということもあったので、出来るだけ市民の力で出来たら良いなという思いもあるので、その話も聞きつつ、国立もどのようにしてプロの方になったのかとか委員のまとめて下さったのでよかったですけど補足でした。</p>
委員	<p>そうなるとしおりもリーフレットもどういう風に編集してきたんですかとなりますね。内側にある写真も何にしようかという話も出てきますね。重点目標のリーフレットも色んな中からこの写真にしたというのは意図があって、考えがあって選んだんでしょうという予想しかつかない、そのあたりも聞くことが出来たら、編集も映像だろうと印刷物だろうと考える意図があると思うんで、それとみなさんの思いをどうやってうまくしていったのかお聞きしたいですね。携わった人に聞くのが一番かなと思います。</p>

	何か他にご意見ありますか。
委員	<p>今のテーマは研修会でどんな話をさせていただくかということですよ。アンケートを見ながらお話しを聞きながら思うんですけど、私は上北台が多いんですけど利用連に入って役員会をやっていると、比較的しばしば「それは公民館で用意してくれるよね」と、参加している私もまだ数年なんですけど、当然自分達で用意するものなどについても、先程も言いましたようにしばしば「それ公民館でやってくれるよね」とかいう発言が出てくる。</p> <p>出てくることはいけないんじゃないかとお互いに理解を深める事だと思うんですけど、今回の国立の資料とかを見て思うのは、公民館は利用者の皆さんが作るんです、ということをよく言っていたんですよね、そうだよなと思いつつやっぱり職員さんと一緒に作るものかなという思いもあってですね、事前にいただいた資料を見ながら今日ここに来てもう一度これを見ても、一昨年行った時にも国立公民館のリーフレットよく出来てるなと思いました、もう一度見てみるとこれは公民館が発行したというよりも60周年記念実行委員会で作ったと書いてありました。</p> <p>今回お話いただくようなテーマの中に、公民館は誰が運営していくのみたいなことを利用者が理解を深められるといいなと感じました。このリーフレットの中にも実行委員会が作ったんだと思うんですけど、大変良い構成だと思って、「公民館事業のおもてなし 公民館はどういう所」というのが書いてあるんですけど、私の発想では、市民の側から普段利用している利用者の側からこういう枠組みは中々作れないかなという風にも感じました。</p> <p>それから「市民が作る公民館」市民が作るここまで大胆に言えるかなと思って見ていました。しかしながらこれを60周年記念の実行委員会が作ったんだとすると、なるほどそれこそが公民館と一緒に作るものなんだなと感じまして発言させていただきました。その辺を今回講師になっていただく井口さんに触れていただけたらなと、こんな意見です。</p>
委員	講師は井口さんで決まったという事ですね、テーマは皆で出したのが6つあると、今出た意見を含めてこの中から一つか二つに絞って井口さんをお願いすればいいんじゃないかと思います。折角みんな苦労して書いてきたので、この中から二つか三つ重ねてもいいし、今言った内容を付け加えて絞って井口さんをお願いするのでどうかなと思います。
委員	実際にはこのアンケート、先程館長からお話があったようにすでに講師に伝わっています。さらに今日出てきた内容も伝えた上で、講師をお招きしてお話ししていただくので、私達の思いはこれだけありますがその中からどのように選んでどのようにするかという辺りは講師の方をお願いし、今日出た6つのプラス意見を合わせて伝えるということ。
委員	井口さんに選んでもらうんじゃないかと、こちらからこのテーマでやっていただきたいと絞ってお願いした方がいいんじゃないですか。
委員	中心になるものを出してもらおうと、委員のご意見は。
委員	私は5番目の「公民館とは何か」が良いと思いますけど、もう一つ何か加えるとか、今日出たことを材料にして、この中から決めてこういうことしていきたいとお願いするのが良いと思います。
委員	委員がおっしゃった「公民館とは何か～四つの役割～」 「三多摩テーマ」の大事なところっていうのは、他のところにも関連付けてやる

	大事なテーマでもあります、これを外すわけにはいかない、プラス今日出てきた具体的な実行委員の話、その中でのビデオやリーフレットとなるとこれで全部入っちゃうんじゃないかなと、皆さんどうですか。
委員	おそらく井口さんは大体何でもテーマは講演出来ると思います。
委員	皆さんいかがですか。「公民館とは何か」と今出た話しを中心に改めてお願いするでいかがでしょうか。
委員	今の話で私も良いかなと思ったんですけど、この方、文部科学省の生涯学習政策局の方なので、今公民館を取り巻く環境としては、この間の都公連の研修でもあったように、文部科学省の方で組織改変とかがあって、公民館のあり方というのが国の政策的に変化もあるという中で、さっき新井委員がおっしゃったような地域の人と公民館と一緒に作っていくとか、改めて見つめなおして大切になってくるんじゃないかなと感じています。アンケートの集計にある公民館の役割っていうところに、今おきている環境の話ももしかしたらこの方でしたら良くご存知なのかなというところで、これから環境が変わっていく中で東大和も50周年を迎えるとか、変化があるかもしれないというところで改めて地域との繋がり、人との繋がり、一緒に作っていくというところを考える場になったらいいなと思います。それが前段にあって、その後具体的な実行委員の皆さんの動かし方であったりパンフレットのお話しも聞けたらいいなと思いました。
委員	そうしましたら、中心は「公民館とは何か～四つの役割～」それに周年行事の実行委員会の事、どんな風に実行委員会を進めていったか、さらにビデオやリーフレットはどんな風に完成まで道をたどったんですか、苦労話も含めて、そこらへんでいかがでしょうか。次に井口さんに連絡するときは、そんな事が今回の審議会で出ましたと事務局から伝えてもらう、これでよろしいですか。 では、研修会についての審議事項は終わります。
委員	それでは、次第3(3)報告事項「都公連委員部会の報告について」、新井委員お願いいたします。
委員	説明します。
委員	説明が終わりました。ご意見がありましたら、ご発言をお願いいたします。
	「質疑・応答」
委員	続きまして、次第の4「その他」でございます。ご意見などがありますでしょうか。
	「質疑・応答」
委員	以上で、次第の4「その他」については終了となります。事務局から追加事項はありますか。 本日予定した議事はすべて終了しました。閉会前に副会長からご挨拶をお願いいたします。
委員	挨拶
委員	これもちまして、第24期第13回公民館運営審議会を閉会いたします。お疲れ様でした。